平成２７年度　全国学力・学習状況調査のまとめ

今年の４月、３年生対象の全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科・生活・学習アンケート）が行われました。生徒の個人結果につきましては、すでに各ご家庭にお渡ししておりますが、この度は、調査結果の主な傾向と今後の取り組みについてお知らせします。

《１》学力調査結果の主な傾向

【国語】

・A・B 問題ともに、平均正答率は大阪府の平均値とほぼ同じである。しかし、中間層の基礎的な学習の定着を図る必要がある。

・目的に応じて言葉や文章を別の表現に置き換えたり、伝えたい事柄を明確に書く力は高い。その一方で、なぜ自分がそう考えたか、という根拠をはっきりさせ、相手に効果的に伝える力に課題がある。

・「国語の勉強は大切だと思う」「国語の学習したことは将来に役に立つ」と考えている生徒の割合は高い。

【数学】

・A 問題で、基本的な計算力が全体的に府平均より５％高い。また、図形の理解度も高い。しかし、関数の言葉や意味、グラフをきちんと理解できていない生徒がいる。

・B 問題で、証明問題の図形の性質をよく理解し、利用することができる。与えられた情報から数量関係の情報を選択し、的確に処理することができる。しかし、文字が入ることによって、できない生徒が多くなる。

・数学の課題に対して、意欲的に取り組み、解こうと努力する生徒が多い。また、より深く理解しようとし、ほかの解き方がないか考える生徒が多い。

【理科】

・科学的な思考表現の項目で、府の平均正答率よりも高い。

・１分野では、科学的分野が高く、２分野では、生物的分野の正答率が高い。計算が入ってくる物理的分野は苦手である。

・観察や実験に対する興味を持つ生徒の割合が高い。問題に対して最後まで解こうと努力をしている。

《２》生活・学習アンケート調査結果の主な傾向

【自尊感情について】

・「自分によいところがあると思いますか」は府平均より１．７ポイント高い。

・「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦をしていますか」は府平均より０．３ポイント高い。

・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」は府平均より７．２ポイント高い。

【学校生活について】

・「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」は府平均より１．２ポイント高い。

・「学校みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがありますか」は府平均より９．３ポイント高い。

【生活習慣について】

・「毎日朝食を食べていますか」は府平均より０．１ポイント低い。

・「スマートフォン等の携帯電話の使用やゲームを１日４時間以上している」は府平均より０．６ポイント高い。

【家庭学習について】

・「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」は府平均より２．１ポイント高く、「授業の予習をしていますか」は３．４ポイント高い。「授業の復習をしていますか」は１１．６ポイント高い。

【規範意識について】

・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」は府平均より２．７ポイント高い。

・「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか」は府平均より１４．５ポイント低い。

【授業づくり】

・「授業中に生徒間での話し合いをよく行っていたか」は府平均より１．１ポイント高い。

・「読書は好きですか」は府平均より４．２ポイント高い。

・「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか」は府平均より１．９ポイント高い。

《３》学力向上に向けた今後の取組み

【学力向上の面から】

・授業のはじめに授業の目標（めあて・ねらい）を示し、じっくり考えさせる授業に取り組むとともに（ふりかえり）を重視した授業を進める。

・子どもの困り感に寄り添った視点に立った授業づくりを推進する。

・自ら考え自ら判断できる子どもづくりに向けて取り組んでいく。

・１日あたりの携帯電話の使用する時間は府や国の平均よりも高いので、スマートフォン等の取り扱いについて改善していく。

・自主学ノートを中心に取組みを進め、自学自習力を高める。